

母国、祖国、故国の使い分けについて PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E6_AF_8D_E5_9B_BD_E3_80_81_E7_c105_146115.htm

1 . 母国は、自分自身が基本的に生まれ育った期が国で、自分のアイデンティティが形成された国を、母国であるということが多いと思います。その国の国籍であるかどうかは、あまりありません。例 アメリカ人と婚した日本人が、アメリカ国籍を取得し、アメリカで生活している合、その日本人にとっての母国は、日本です。2 . 祖国は、自分のルツのある国。ここで生まれ育ったかは、ではないと思います。この合は、国籍は、同一でないことが多いと思います。例 ブラジルの日系人の2世などにとり、日本は祖国であるかもしれませんが、母国ではないと思われます。祖国は日本で、母国はブラジルという形になると思います。3 . 故国は、自分が何国人であるかのアイデンティティと国籍が一致している国をさすことが、多いと思います。故ということばのように、なつかしんでいるイメージが多いと思います。例 日本人の会社が、外国で何年も滞在している合に、故国を思うのです。また、母と母国はいます。母国は、あくまでも自分の国籍のことばで、母は、自分の第一言。例 日本生まれの多くの在日に人にとって、母は、日本で、母国は、(ほとんどしゃべれない)国#65378.母国の母国#65378.母国#65379.は、少し意味がうようながします。辞苑によると母国： 分れ出た国から、もとの国を言う称。 自分の生まれた国。祖国。祖国： 祖先以来住み来った国。自分の生まれた国。

国民の分れ出たもとの国。本国。故国：古くからある
国。昔あった国。自分の生まれた国。母国。ふるさと。
故。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请
访问 www.100test.com